

「少年の主張大会」に思う



村松訓子教育委員

去る6月17日に開催されました「第13回恵那市少年の主張大会」に審査員として出席させて頂き、先日8月8日に開催されました岐阜県大会へも県内5圏域代表17名の中学生の発表を聴きに行って参りました。

市大会でも県大会でもそれぞれ代表の中学生が自分の生活の中で自分をとりまく環境（家庭・学校・社会）に対して日頃感じている事、考えている事、自分の体験を通してこれから取り組もうとしている事、未来に向けての夢などを、わずか5分間にまとめて自分の言葉で真摯に発表する姿にとても心が洗われる思いがしました。感情表現も豊かで自然で、多分彼女達は身のまわりの出来事に対して常に興味の対象を広く深く感じとり、素直に冷静に自分をしっかり見つめる事のできる中学生なのでしょう。そして何よりも発表する生徒達一人一人の心の中にあったのは、自分のまわりの人達に対する感謝の気持ちだと思いました。支えてもらい応援してもらっている家族や先生や友達、夢や目標を与えてくれた人々に対しての感謝の気持ちを自分だけの「言葉」に込めて発表していました。人の心を動かすのは上辺だけの薄っぺらい言葉では無く、心の中がほっこりと温くなるような気持ちのこもった言葉です。彼女達の発表はそんな「言葉」であふれていました。

平成29年度の恵那市教育委員会の主な取り組み

教育総務課

- ・武並小学校屋内運動場改築工事の実施
- ・恵那東中学校大規模改造工事の実施
- ・恵那南高等学校活性化の推進
- ・再編基本方針確認
- ・学校給食センター配置計画と「アレルギー対応の手引き」の対応と検討

学校教育課

- ・学力向上
- ・教員の指導力向上
- ・教育相談・支援体制の充実
- ・恵那市型コミュニティスクールの推進
- ・PTA活動の充実

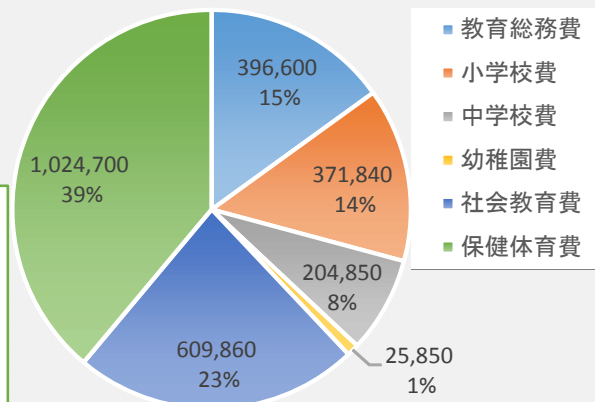
生涯学習課

- ・大井宿の歴史的建造物の修理と活用
- ・岩村城の保存と整備
- ・正家廃寺跡の調査報告書と整備基本計画の作成
- ・大井ダム・発電所等木曽川水系の近代土木遺産群の啓発
- ・家庭教育と青少年の育成支援

一般会計歳出予算 教育費の内訳 2,633,700千円

教育費以外
民生費 1,950,938千円
こども園管理運営事業費等

総務費 6,080千円
高等教育振興事業費



スポーツ課

- ・運動習慣はじめの一步プロジェクト
- ・明知鉄道を利用した運動・スポーツイベントの実施
- ・クリスタルパーク恵那スケート場の夏期シーズンの入場者数の増加を図る
- ・まきがね公園内スポーツ施設の大規模改修を実施
- ・笠置峡ポート&カヌートレーニングキャンプ地誘致

幼児教育課

- ・新こども園の建設
- ・新こども園の運営準備
- ・地域型保育事業の推進
- ・幼児教育・保育の質の向上
- ・こども園の管理運営

生涯学習まちづくりセンター

- ・市民三学運動～「学んで生かす」機会の提供
- ・市民三学運動～「恵那三学塾」の充実
- ・文化振興会の自主的な体制の整備
- ・コミュニティセンターの体制の確立
- ・先人学習・先人顕彰事業の推進

中央図書館

- ・市民による「読書のまち」づくり
- ・「読書のまち」づくりを推進する図書館サービス
- ・「読書のまち」づくりを推進する環境整備
- ・10周年記念行事の実施
- ・館内行事・利用方法の見直し

子どもの運動や健康体操を推進

*** スポーツ課 ***

市では、平成27年4月に「スポーツ推進計画」、平成28年3月に「スポーツ推進行動計画」を策定し、運動・スポーツを通じて市民一人ひとりが健やかで心豊かに暮らすことのできる持続可能で活力ある健幸都市を目指しています。

この計画に基づく事業の一つに「運動習慣はじめの一步プロジェクト」があります。これは、子どもの頃から身体を動かす遊びや運動に親しむことができるよう、運動や遊びの機会を提供し、運動習慣づくりのはじめの一步を促進するプロジェクトです。本年度も中部大学と連携し、子ども園の3から5歳児の体力測定、保護者へのアンケート調査、保護者向けの運動講演会、こども園職員のプログラム運用研修会を行います。そのうち、7月29日に開催した「親子で運動遊びのつどい」では、小学校就学前の子どもとその保護者ら37組が参加し、家庭等でも楽しくできる運動遊びの体験と「幼少期からの運動遊びの重要性」と題した講演会を聴講しました。参加者からは「日ごろ子どもと一緒に遊びながら取り組めば、運動能力が高まることが分かった」などの声がありました。

また、「みんなではじめよう健康体操プロジェクト」では、ラジオ体操などの健康づくりにつながる体操を、各々が自由に選択して取り組むことにより、市民の健康づくりを推進しています。8月4日には、一昨年に行った健幸都市宣言にちなみ、「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が、まきがね公園多目的広場で23年ぶりに開催されました。体操講師に多胡肇^{はじめ}氏、ピアノ演奏に加藤由美子氏を迎え、1,000人以上の市民がラジオを通じて健幸都市・恵那を全国にアピールしました。



【講師の指導で気持ちよく体を伸ばす市民】

図書館は今年で開館10周年を迎えました

*** 恵那中央図書館 ***

恵那市中央図書館(伊藤文庫)は今年7月7日に開館10年目を迎えました。

この図書館は(株)バローホールディングス創業者故伊藤喜美氏が私財を投じて寄贈をされた全国でも珍しい図書館です。今回10周年を記念して、7月6日にさかなクンをお招きして恵那文化センターで講演会を開催しました。講演に先立ち、図書館運営にご貢献をいただいた方々へ感謝状を贈呈したあと、「さかなクンのギョギョッとびっくりお魚のお話」と題して、子どもの時にタコに興味を持ち図書館を利用した話や、魚と環境の話など、イラストやクイズを交え子どもから年配の方まで多くの方に楽しんでいただきました。



また、例年恒例となりました「古本市」や図書館で飲物を飲みながら本に親しんでもらう「ブックスカフェ」、恵那農高生徒さんによるおから講座、本の朗読を交えた七夕コンサート、乗り物を図書館前に集めて行う「はたらく車とおはなし会」など、10周年を記念して様々なイベントを行っています。

今後も先人の想いを引き継ぎ「知の殿堂」を基本理念として、人材育成の場ととらえ、書に学んで活かしていくためにも、多くの方に来館していただき、市民に役に立つ図書館を目指していきます。